



## 2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年1月28日

上場会社名 株式会社島精機製作所 上場取引所 東  
 コード番号 6222 URL <https://www.shimaseiki.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島 三博  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理財務部長 (氏名) 南木 隆 (TEL) 073-471-0511  
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	22,506	41.4	△3,183	—	△2,317	—	△2,636	—
2021年3月期第3四半期	15,914	△36.9	△6,555	—	△4,912	—	△5,070	—

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 △1,831百万円(—%) 2021年3月期第3四半期 △6,628百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	△76.38	—
2021年3月期第3四半期	△146.91	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	101,840	87,688	86.1
2021年3月期	110,140	90,036	81.7

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 87,656百万円 2021年3月期 89,996百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2022年3月期	—	5.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,500	20.5	△5,600	—	△4,600	—	△5,000	—	△144.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	35,800,000株	2021年3月期	35,800,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	1,285,211株	2021年3月期	1,288,541株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	34,513,758株	2021年3月期3Q	34,511,636株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	12
受注及び販売の状況	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経済の動向は、世界的に新型コロナウイルスの新たな変異株による感染が拡大していき中、米国では経済活動の再開にともなう需要の高まりによる供給不足でインフレが継続し、中国では環境保全や不動産投資に対する政府の規制強化と感染拡大阻止に向けた厳しい行動制限等を背景に経済活動は減速傾向が見られます。また欧州でも感染再拡大や物価上昇を背景に景気回復ペースが鈍化しています。わが国においては、個人消費など景気は持ち直しの兆しはあるものの、原材料の高騰や人手不足が重荷となっており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済情勢の中、当社グループはこれまで以上に世界各地の顧客、業界の課題解決に向けて、ニット製品の可能性を大きく広げるホールガーメント横編機、バーチャルサンプルによって商品企画のプロセスを飛躍的に効率化できるデザインシステムをはじめ、生産工場やアパレル企業のビジネスモデル変革やサステナブルなモノづくりを実現するための製品・サービス・ソリューションの提案活動に注力しました。また当第3四半期においてはリアル展示会が徐々に再開され、11月に東京ビックサイトにおいて開催された SAMPE Japan 先端材料技術展2021では、高効率・高生産性・高品質を実現した産業資材仕様の自動裁断機、CADシステムを出展し幅広くソリューションを訴求しました。

コア・ビジネスである横編機事業の状況は、アジア地域では、中国市場においてOEM型生産から国内衣料品市場に向けた高付加価値商品のモノづくりへの転換を図るとともに、EC市場の拡大にともないリードタイム短縮の必要性、また人件費上昇と人手不足から省人化を進める動きは強く、主にファインゲージのホールガーメント横編機の導入が伸びました。その他アジア市場においても設備投資が回復傾向となりコンピュータ横編機の売上が増加しました。欧州では、付加価値の高い商品開発を得意とするイタリアにおいて、経済活動の再開にともない設備投資が活発化し、ホールガーメント横編機や高いデザイン性を発揮する成型編機を中心に需要が増加しました。これらの結果、横編機事業全体の売上高は147億13百万円（前年同四半期比55.0%増）となりました。

デザインシステム関連事業においては、アパレルデザインシステム「SDS-ONE APEX4」は横編機事業の売上増加にともない海外市場を中心に販売台数が増加し、さらに今期より本格的にスタートした「APEX F i z」は欧米、国内アパレルブランドを中心にライセンス契約数が伸びました。また自動裁断機「P-CAM」についても国内を中心に需要が回復傾向となり、売上高は21億13百万円（前年同四半期比21.7%増）となりました。

手袋靴下編機事業は、国内及び海外大手ユーザーの設備投資が順調に伸びたことで売上高は19億31百万円（前年同四半期比33.1%増）となりました。その他事業につきましては、売上高は37億48百万円（前年同四半期比15.8%増）となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間全体の売上高は225億6百万円（前年同四半期比41.4%増）となりました。利益面におきましては、物流費や原材料費の高騰の影響はあったものの、工場操業度が改善したことにより売上総利益率は回復傾向となり、さらに販売費及び一般管理費の抑制に努めた結果、営業損失は減少し31億83百万円（前年同四半期は営業損失65億55百万円）となりました。営業外において貸倒引当金戻入益の計上等により経常損失23億17百万円（前年同四半期は経常損失49億12百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失26億36百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失50億70百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金、売上債権の減少などで前連結会計年度末に比べ83億0百万円減少し、1,018億40百万円となりました。負債合計は買掛金や短期借入金の減少などで前連結会計年度末に比べ59億52百万円減少し、141億51百万円となりました。また自己資本の額は、876億56百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて4.4ポイント上昇し86.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2021年5月7日に公表いたしました2022年3月期通期（連結・個別）の業績予想数値を修正いたしました。詳細につきましては、本日公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	25,636	23,551
受取手形及び売掛金	44,823	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	39,845
商品及び製品	7,899	6,935
仕掛品	1,081	753
原材料及び貯蔵品	7,232	7,161
その他	953	912
貸倒引当金	△4,816	△4,775
流動資産合計	82,811	74,385
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,254	6,943
土地	6,473	6,428
その他（純額）	2,315	2,960
有形固定資産合計	16,043	16,332
無形固定資産		
のれん	2,197	1,960
その他	105	149
無形固定資産合計	2,302	2,110
投資その他の資産		
投資有価証券	5,758	5,854
退職給付に係る資産	1,184	1,182
繰延税金資産	360	311
その他	3,128	3,102
貸倒引当金	△1,448	△1,439
投資その他の資産合計	8,983	9,011
固定資産合計	27,328	27,454
資産合計	110,140	101,840

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,393	1,650
電子記録債務	280	432
短期借入金	6,235	1,725
リース債務	943	1,016
未払法人税等	164	281
契約負債	—	905
賞与引当金	982	380
債務保証損失引当金	230	207
その他	3,403	2,553
流動負債合計	14,633	9,153
固定負債		
長期未払金	967	947
リース債務	2,323	1,932
繰延税金負債	556	508
退職給付に係る負債	1,406	1,394
その他	216	216
固定負債合計	5,470	4,998
負債合計	20,104	14,151
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	14,859	14,859
資本剰余金	23,424	23,423
利益剰余金	55,648	52,494
自己株式	△3,935	△3,925
株主資本合計	89,996	86,852
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	606	416
土地再評価差額金	33	33
為替換算調整勘定	△324	665
退職給付に係る調整累計額	△316	△312
その他の包括利益累計額合計	△0	804
新株予約権	23	16
非支配株主持分	15	16
純資産合計	90,036	87,688
負債純資産合計	110,140	101,840

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	15,914	22,506
売上原価	11,885	15,197
売上総利益	4,028	7,309
販売費及び一般管理費	10,584	10,492
営業損失(△)	△6,555	△3,183
営業外収益		
受取利息	252	250
受取配当金	141	131
貸倒引当金戻入益	—	166
助成金収入	890	114
その他	503	302
営業外収益合計	1,787	965
営業外費用		
支払利息	30	36
固定資産賃貸費用	59	29
為替差損	30	6
その他	24	28
営業外費用合計	144	100
経常損失(△)	△4,912	△2,317
特別利益		
固定資産売却益	39	—
投資有価証券売却益	118	—
特別利益合計	158	—
特別損失		
固定資産除売却損	32	11
投資有価証券評価損	77	—
特別損失合計	109	11
税金等調整前四半期純損失(△)	△4,864	△2,329
法人税、住民税及び事業税	81	242
法人税等調整額	125	64
法人税等合計	206	306
四半期純損失(△)	△5,071	△2,635
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	0
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,070	△2,636



## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
四半期純損失(△)	△5,071	△2,635
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△189
為替換算調整勘定	△716	989
退職給付に係る調整額	△839	4
その他の包括利益合計	△1,557	804
四半期包括利益	△6,628	△1,831
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△6,627	△1,831
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	0

### (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

海外連結子会社は、税金費用について、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用していません。

この結果、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であり、利益剰余金の当期首残高への影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っていません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載していません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,489	1,737	1,450	12,677	3,236	15,914
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	9,489	1,737	1,450	12,677	3,236	15,914
セグメント利益又は 損失(△)	△2,119	△10	△201	△2,331	51	△2,279

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	△2,331
「その他」の区分の利益	51
全社費用(注)	△4,275
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△6,555

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計		
売上高						
一時点で移転される財	14,713	2,113	1,931	18,758	3,563	22,322
一定の期間にわたり移転 されるサービス	—	—	—	—	184	184
顧客との契約から生じる 収益	14,713	2,113	1,931	18,758	3,748	22,506
外部顧客への売上高	14,713	2,113	1,931	18,758	3,748	22,506
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	14,713	2,113	1,931	18,758	3,748	22,506
セグメント利益又は 損失(△)	575	529	△6	1,098	284	1,383

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,098
「その他」の区分の利益	284
全社費用(注)	△4,566
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△3,183

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

## 【関連情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

## 1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：百万円)

日本	欧州	中東	アジア	その他	合計
4,102	3,248	856	6,759	947	15,914

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2 「アジア」に属する地域は、東アジア、南アジア、東南アジア、中央アジアであります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

## 1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：百万円)

日本	欧州	中東	アジア	その他	合計
5,214	6,390	967	8,792	1,142	22,506

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2 「アジア」に属する地域は、東アジア、南アジア、東南アジア、中央アジアであります。

### 3. 補足情報 受注及び販売の状況

#### ①受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。  
(単位：百万円)

セグメントの名称	受注高	前年同四半期 増減率	受注残高	前年同四半期 増減率
横編機	15,735	67.8%	4,735	69.1%
デザインシステム関連	2,472	26.1%	601	43.3%
手袋靴下編機	1,919	4.1%	521	5.0%
合計	20,127	52.7%	5,858	57.6%

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

#### ②販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。  
(単位：百万円)

セグメントの名称	販売高	前年同四半期増減率
横編機	14,713	55.0%
デザインシステム関連	2,113	21.7%
手袋靴下編機	1,931	33.1%
その他	3,748	15.8%
合計	22,506	41.4%

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。